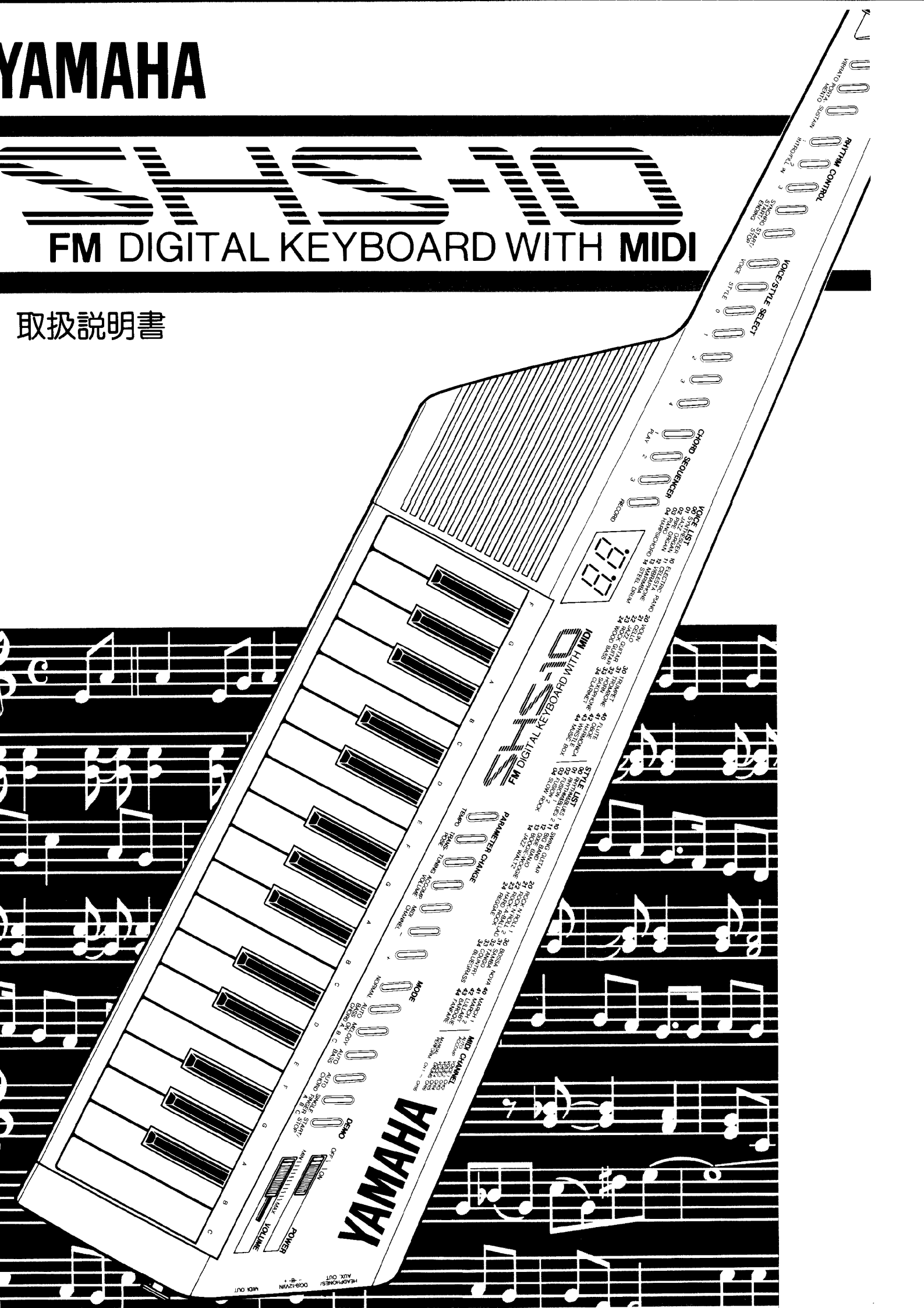


YAMAHA

FXD

FM DIGITAL KEYBOARD WITH MIDI

取扱説明書



SHS-10をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用になる前に

SHS-10をご使用になる前に、本書をよくお読みください。特に本ページの“末永くお使いいただくために”は、必ず読んでおきましょう。

保管してください。

本書では、SHS 10の操作方法を機能別に、くわしく説明しています。お読みになった後も大切に保管して、わからないことが出てきたら、もう一度ご覧になってください。

目次

	ページ
はじめに	
電源のセット方法	2
ストラップの取り付け	2
各部の名称とはたらき	3
デモンストレーションの再生	6
音色の選択と演奏	7
音色に効果をかけてみよう	
サスティン	9
ポルタメント	9
ビブラート	10
ピッチベンド	10
演奏にリズムを加えてみよう	11
自動伴奏	
シングルフィンガー オートベースコード	13
オートベースコード	14
メロディー オン オートベースコード	15
オートベース	15
オートコード	16
コードシーケンサー機能を使ってみよう	17
練習曲	
ジャンバラヤ	19
涙のリクエスト	20
HEADPHONES/AUX. OUT端子の使いかた	21
MIDI OUT端子の使いかた	21
MIDIコントロール	22
MIDIデータフォーマット	23
このような現象は故障ではありません	27
仕様	28
オプション(別売)のご紹介	28
シングルフィンガーコード一覧表	29

末永くお使いいただくために (取扱上の注意)

こんな所には置かないでください。

- 暖房器具のそばや日中の車内など、極端に温度が高い場所、湿気の多い場所には置かないでください。

ラジオやテレビから離してお使いください。

- ラジオやテレビなどのすぐ近くで使用されますと、ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離して使用してください。

無理に力を加えないでください。

- 落としたり、上に座ったりしないでください。
- ボタンやスイッチなどに、無理に力を加えないでください。

使用後は

- 必ずPOWERスイッチを切ってください。
- 長い間使わない場合は、電池を抜いておいてください。
- 電源アダプターのプラグは、電源コンセントから抜いてください。

お手入れは

- 柔らかい布でカラ拭きしてください。
- 汚れがひどいときは、少し水で湿らせた布で拭いてください。
- アルコールやシンナー類は、絶対に使わないでください。
- 塩ビ系のを長時間置くと、張り付いてしまうことがありますので注意してください。

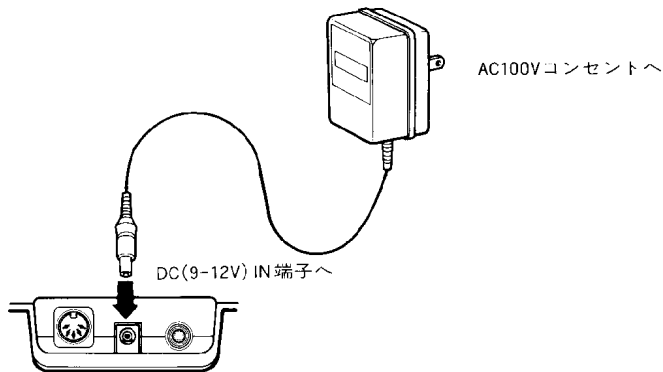
はじめに

電源のセット方法

SHS-10は、乾電池でも家庭用コンセントでも使えます。

1) コンセントで使う場合

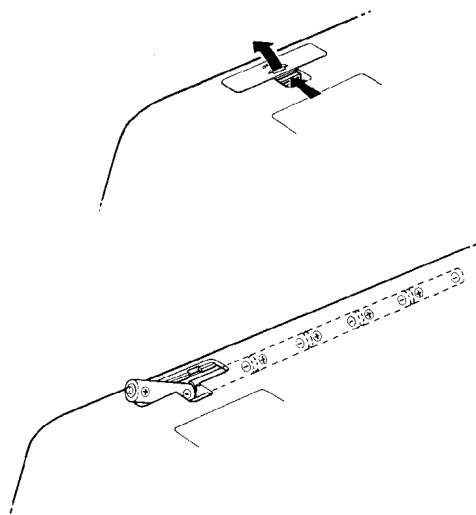
別売の電源アダプター(PA-1, PA-1B)が必要です。
SHS-10の側面にあるDC(9-12V) IN端子に、電源アダプターのプラグを差し込んでください。



※電源アダプターPA-1, PA-1Bは、家庭用コンセントからAC100Vを取り出し、SHS-10に合うDC9-12Vに変換するためのものです。なお、アダプターには仕様異なるものもありますので、上記のもの以外のご使用にならないでください。

2) 電池で使う場合

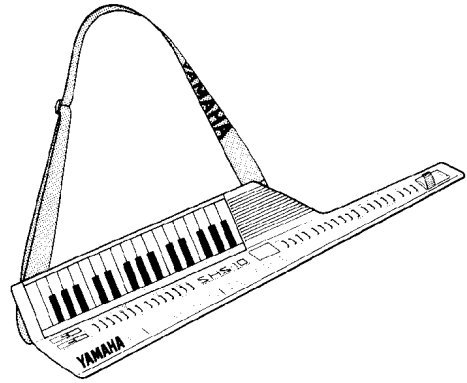
SHS-10を裏がえし、電池ケースのフタをはずします。次に付属の単3乾電池6本を極性(+, -)を間違えないようにセットし、フタを元どおりにしめます。



※電池の寿命がくると、音が途切れたり、出なくなったり、動作が不安定になったりします。このような症状のときは、6本共新しい電池と交換してください。
電池は、寿命の長いアルカリタイプをお勧めします。

ストラップの取り付け

本機は、立奏を前提とした設計になっており、付属のストラップを取り付けることにより、肩から下げてご使用になれます。ねじれないように、しっかり取り付けてください。
なお、ストラップの長さは調整できますので、使いやすい長さにセットしてください。



各部の名称とはたらき

①POWERスイッチ (→6ページ等)

電源を入れたり、切ったりするスイッチです。

②VOLUMEコントロールレバー (→6ページ等)

全体の音量を調節するレバーで、右の方にずらすほど、音が大きくなります。

DEMO

③DEMO START/STOPボタン (→6ページ)

デモンストレーション曲(ラストクリスマス)をスタートさせたり、止めたりするときに押すボタンです。

MODE

④SINGLE FINGER A. B. C. MODEボタン

(→13ページ)
指1本で自動伴奏(シングルフィンガー オートベースコード)をさせるときに押すボタンです。

⑤AUTO CHORD MODEボタン (→16ページ)

リズムとコードの自動伴奏(オートコード)をさせるときに押すボタンです。自動伴奏のコードに合わせて、メロディやベースを弾くことができます。

⑥AUTO BASS MODEボタン (→15ページ)

リズムとベースの自動伴奏(オートベース)をさせるときに押すボタンです。自動伴奏のベースに合わせて、メロディやコードを弾くことができます。

⑦MELODY ON A. B. C. MODEボタン

(→15ページ)
リズム、ベース、コードの自動伴奏(メロディ オン オートベースコード)をさせるときに押すボタンです。自動伴奏に合わせて、メロディを弾くことができます。

⑧AUTO BASS CHORD MODEボタン(→14ページ)

リズム、ベース、コードの自動伴奏(オートベースコード)をさせるときに押すボタンです。

⑨NORMAL MODEボタン (→7ページ)

自動伴奏なしで演奏したり、リズムのみ鳴らしたものに合わせて演奏するときに押すボタンです。

PARAMETER CHANGE

⑩+ / - PARAMETER CHANGEボタン

(→7ページ等)
⑪~⑮のボタンで選んだ機能(パラメーター)の値などを、セットするためのボタンです。

⑪MIDI CHANNEL PARAMETER CHANGEボタン (→22ページ)

MIDIチャンネル パラメーターを呼び出すときに押すボタンです。このパラメーターを呼び出すと、MIDIコントロールを行なう際のマニュアル演奏パートのMIDI送信チャンネルを、変更できます。

⑫ACCOMP. VOLUME PARAMETER CHANGEボタン (→12ページ等)

アカンパニメント ボリューム パラメーターを呼び出すときに押すボタンです。このパラメーターを呼び出すと、自動伴奏音全体の音量を調節できます。

⑬TUNING PARAMETER CHANGEボタン (→7ページ)

チューニング パラメーターを呼び出すときに押すボタンです。他の楽器とアンサンブルするときなど、このパラメーターを呼び出すと、SHS-10をチューニングできます。

⑭TRANSPOSE PARAMETER CHANGEボタン (→8ページ)

トランスポーズ パラメーターを呼び出すときに押すボタンです。歌伴奏のときなど、このパラメーターを呼び出すと、好きな調に移調できます。

⑮TEMPO PARAMETER CHANGEボタン (→12ページ)

テンポ パラメーターを呼び出すときに押すボタンです。このパラメーターを呼び出すと、リズムのテンポを調節できます。

⑯LEDディスプレイ (→6ページ等)

ボイスNo.やスタイルNo.、パラメーター値などが表示されます。

CHORD SEQUENCER

⑰コードシーケンスRECORDボタン (→18ページ)

コードシーケンサー機能を使ってコード進行を記憶させるときは、このボタンと⑱のボタンを同時に押します。

⑱コードシーケンスPLAY 1, 2, 3 ボタン (→17ページ)

記憶させたコード進行を使って自動伴奏させるときは、これらのボタンを押します。

VOICE/STYLE SELECT

⑲0, 1, 2, 3, 4 ボタン (→7ページ等)

ボイスNo.やスタイルNo.を選ぶときに押すボタンです。

⑳STYLEボタン (→11ページ)

このボタンを押すと、⑲のボタンでスタイルNo.(リズムの種類)を選択できるようになります。

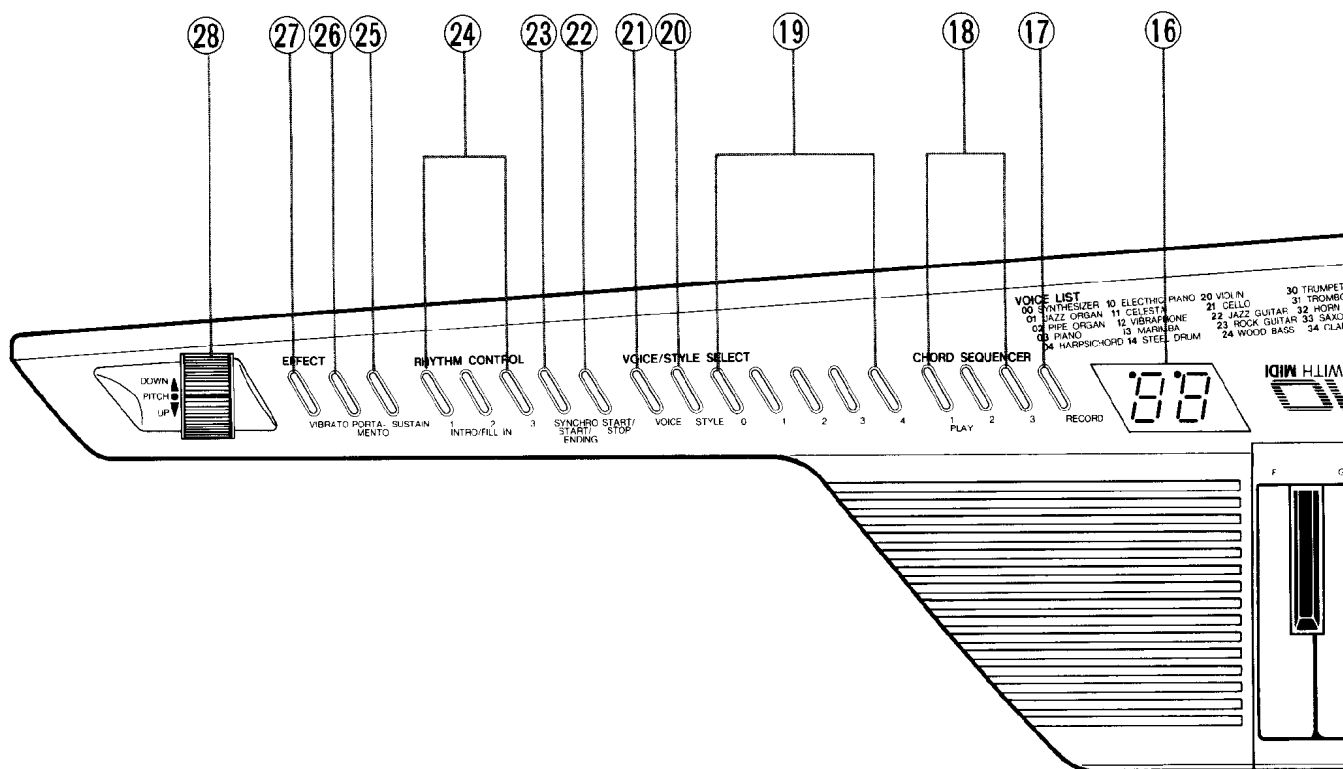
㉑VOICEボタン (→7ページ)

このボタンを押すと、⑲のボタンでボイスNo.(音色の種類)を選択できるようになります。

RHYTHM CONTROL

㉒START/STOPボタン (→11ページ等)

自動伴奏やリズムをスタートさせたり、止めたりするときに押すボタンです。



②③SYNCHRO START/ENDINGボタン
(→11ページ等)

鍵盤を押すと同時に自動伴奏やリズムをスタートさせたり、エンディングのパターンを出して演奏をストップさせるときに押すボタンです。

②④INTRO/FILL IN 1, 2, 3 ボタン (→11ページ等)

フィルインのパターンで自動伴奏やリズムをスタートさせたり、途中でフィルインを入れるときに押すボタンです。

EFFECT

②⑤SUSTAINボタン (→9ページ)

このボタンを押している間は、音色(ボイス)にサステイン効果(音に余韻が残る効果)がかかります。

②⑥PORTAMENTOボタン (→9ページ)

このボタンを押している間は、音色(ボイス)にポルタメント効果(先に押した鍵盤の音程から後に押した鍵盤の音程へ、なめらかに音程が移行する効果)がかかります。

②⑦VIBRATOボタン (→10ページ)

このボタンを押している間は、音色(ボイス)にビブラート効果(連続的に音程が微妙に上下して、音にうるおいが与えられる効果)がかかります。

②⑧PITCHベンドホイール (→10ページ)

このホイールを操作することにより、音色(ボイス)の音程を上げたり、下げたりできます。ちょうどギターでのチョーキングのような効果が得られます。

②⑨HEADPHONES/AUX. OUT端子 (→21ページ)

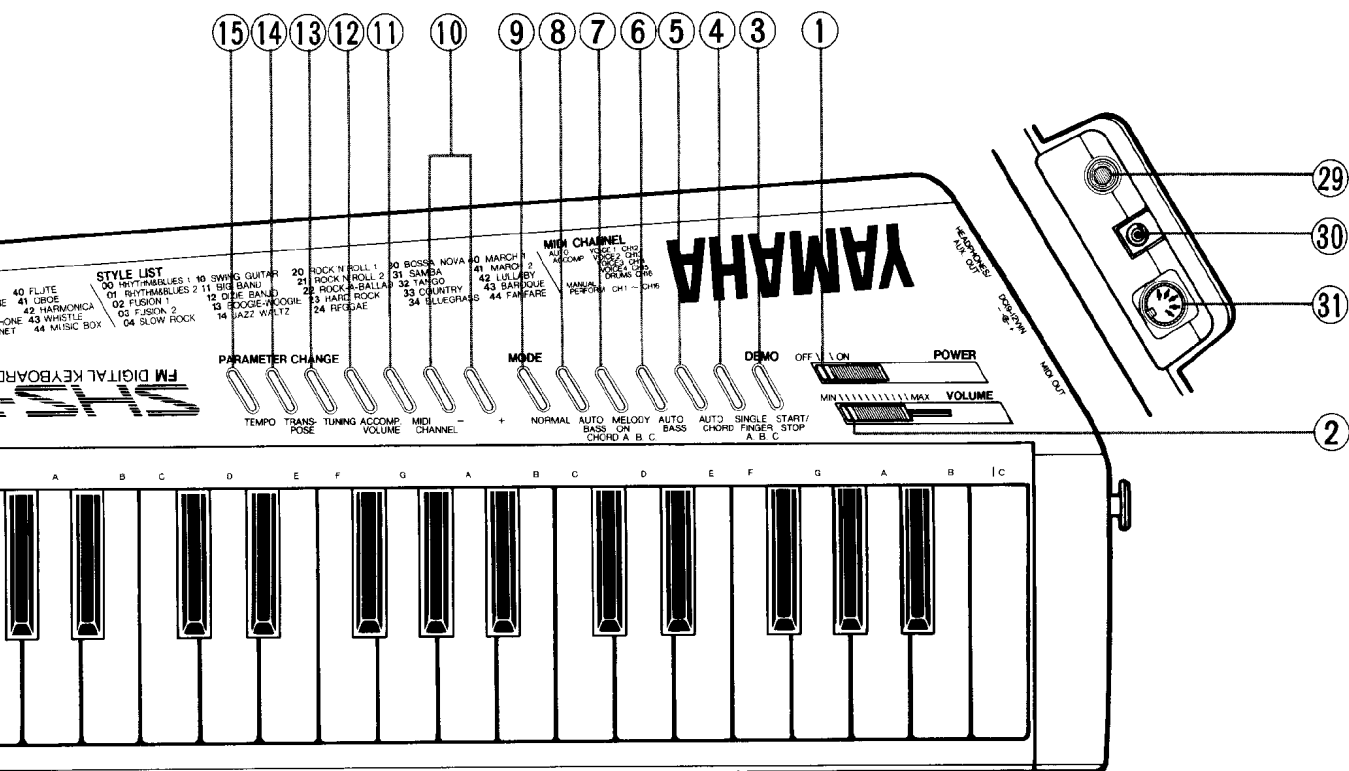
本機の音を出力する端子で、ヘッドホンやキーボードアンプなどを接続できます。

③⑩DC(9-12V) IN端子 (→2ページ)

電源アダプターを接続する端子です。

③⑪MIDI OUT端子 (→21ページ)

演奏情報などをMIDIデータで出力する端子で、他のMIDI機器を接続できます。



※SHS-10には様々な機能がありますが、中にはPOWERスイッチをOFFにしても、設定値が記憶されるものがあります。また、記憶されないものは、POWERスイッチをONにするたびに初期値に戻されます。ただし、記憶されるものについても、乾電池がセットされている場合、またはACアダプターから電源が供給されている場合に限りです。乾電池やACアダプターがセットされていない場合は、全ての設定値が初期値に戻されることになります。

記憶されるもの、およびそれらの初期値

- ポルタメントタイム……………“1”
- ピッチベンドレンジ……………“1”
- コードシーケンサー機能を使って記憶させたコード進行……………本書の17ページに記載されているコード進行
- MIDIチャンネル……………“1”

記憶されないもの、およびそれらの初期値

- デモンストレーション……………ストップ
- 音色……………“00 SYNTHESIZER”
- チューニング……………A₃=440Hz
- トランスポーズ……………+0セント
- ボイス/スタイルセレクト…ボイス
- モード……………ノーマル
- オートリズム……………ストップ
- スタイル……………“00 RHYTHM & BLUES 1”
- リズムテンポ……………♩=96
- アンプボリューム……………4

※次のリセット操作をすれば、無条件で全ての設定値を初期値に戻すことができます。

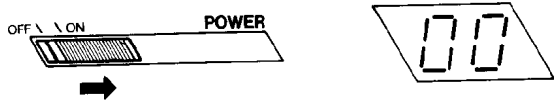
- ①POWERスイッチをOFFにする。
- ②NORMAL MODEボタンとAUTO BASS CHORD MODEボタンを同時に押しながら、POWERスイッチをONにする。

デモンストレーションの再生

SHS-10には、約5分間にわたるデモンストレーション（デモ演奏）がプリセットされており、SHS-10の可能性をご理解いただけます。曲は「ラストクリスマス」。曲の中で、音色が次々と切り替わります。

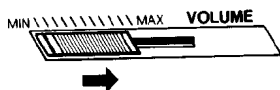
①POWERスイッチをON

POWERスイッチをONにして電源を入れます。電源が入ると、LEDディスプレイには“00”が表示されます。



②VOLUMEコントロールレバーをセット

あらかじめVOLUMEコントロールレバーを右方向にスライドさせて、適当な音量になるようにセットしておきます。



③DEMO START/STOPボタンを押す

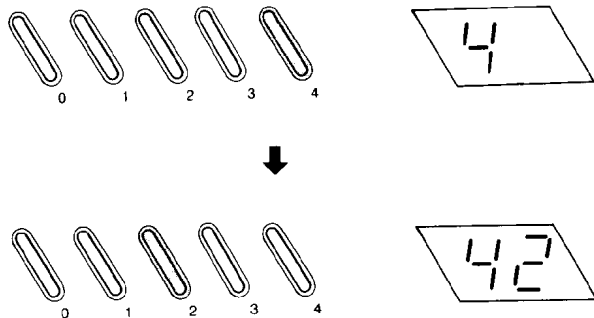
DEMO START/STOPボタンを押すと、デモ演奏がすぐにスタートします。



デモ演奏のメロディ音の音色は、曲の進行に合わせて次々と切り替わります。音色が切り替わるたびに、LEDディスプレイには、音色のナンバーが表示されます。

④音色を切り替えてみましょう

音色は、自由に切り替えることができます。たとえば、“4”のボタンの次に“2”のボタンを押してみましょう。LEDディスプレイに“42”が表示されると共に、メロディ音がボイスNo.42のハーモニカの音になります。（コントロールパネルの“VOICE LIST”を見れば、どの音色がどのナンバーになっているかわかります。）



なお、曲の進行の中で音色が切り替わるところにくると、プリセット音色に戻ります。

⑤デモ演奏の停止

デモ演奏は、繰り返し演奏されます。デモ演奏を停止させるときは、DEMO START/STOPボタンまたはSTART/STOPボタンを押してください。

RHYTHM CONTROL



DEMO



※デモ演奏は、音色の切り替えだけでなく、テンポや音程を変えたり、エフェクトをかけることも可能です。

音色の選択と演奏

SHS-10には様々な音色がプリセットされており、演奏する曲に合わせて自由に選択できます。

では、音色を切り替えて演奏してみましょう。(ここでは、チューニング機能とトランスポーズ機能の説明もします。)

①準備

電源を入れると共に、ボリュームを上げておきます。

②ノーマルモードに切り替える

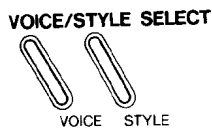
念のため、NORMAL MODEボタンを押してノーマルモードにします。自動伴奏なしで演奏するときは、ノーマルモードにしてください。



※ノーマルモードでの最大発音数は6音で、後着優先(後に押した鍵盤の音を優先して発音)です。

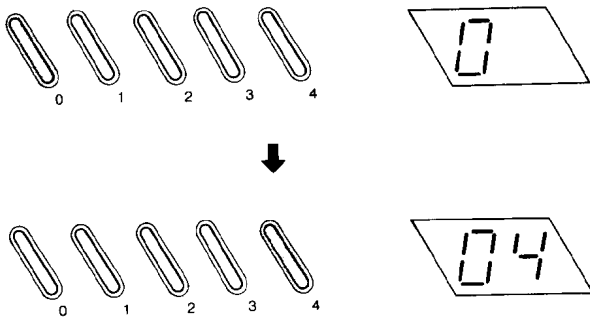
③ボイスモードに切り替える

念のためVOICEボタンを押します。これは、もしSTYLEボタンが押されていると、④の操作をしたとき、音色でなく、スタイル(リズム)が切り替わってしまうためです。



④音色の選択

0, 1, 2, 3, 4 ボタンで、希望する音色のボイスNo.を指します。例えばボイスNo.04のハーブシコードであれば、0ボタンを押してから4ボタンを押します。(コントロールパネルの“VOICE LIST”を見れば、どの音色がどのナンバーになっているかわかります。)



⑤演奏

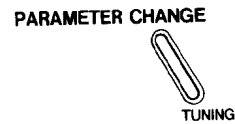
さあ、鍵盤を押して演奏してみましょう。指示した音色で鳴るはずですが、他の音色に切り替えたいときは③の操作を行ってください。

チューニング

他の楽器や録音された音楽に合わせて演奏するときのために、SHS-10にはチューニング機能があります。他の楽器の発音ピッチ(音程)に合わせることができます。チューニングは、次のように行ってください。

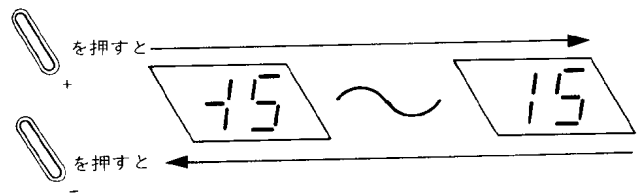
①TUNING PARAMETER CHANGE ボタンを押す

TUNING PARAMETER CHANGEボタンを押して、チューニング可能な状態にします。



②チューニングを行う

+/- PARAMETER CHANGEボタンを押してチューニングを行います。可変範囲は“0”を基準(440Hz)にして、“-15”(一半音弱)~“15”(一半音強)です。本機と他の楽器の音を出しながら、ピッチを合わせてください。



なお、+ボタンと-ボタンを同時に押すと、標準値の“0”にセットされます。

トランスポーズ

押した鍵盤と実際に発音される音の音程を、変えることができます。弾き方を変えずに移調したい時や、最低音よりも低い音が必要なとき、最高音よりも高い音が必要なときに有効です。

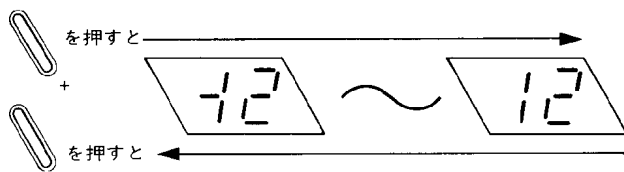
①TRANSPOSE PARAMETER CHANGEボタンを押す

TRANSPOSE PARAMETER CHANGEボタンを押して、移調可能な状態にします。



②移調する

+/- PARAMETER CHANGEボタンを押して移調します。可変範囲は“0”を基準にして、“-12”(−1オクターブ)~“12”(＋1オクターブ)です。たとえば、値を“7”にすると、7半音上の音ができるようになります。



なお、+ボタンと-ボタンを同時に押すと、標準値の“0”にセットされます。

音色に効果をかけてみよう

SHS-10には、4種類のエフェクトがあります。曲に合わせて活用しましょう。

サスティン

SUSTAIN ボタンを押しながら演奏すると、演奏している音に余韻が残ります。

※ドラム音や自動伴奏の音には、サスティンはかかりません。
※余韻の長さは、音色ごとに決められています。余韻の長さを変更することはできません。

EFFECT



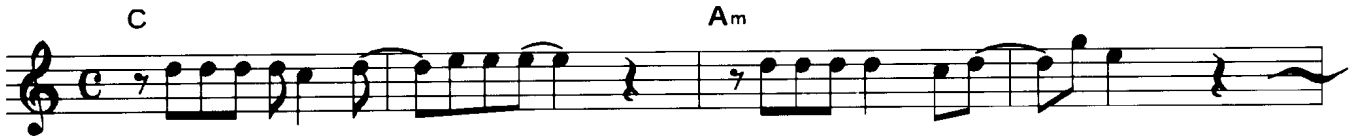
SUSTAIN

(例) ピアノの音色にサスティンをかけてみましょう。

- ボイス：03 PIANO
- スタイル：03 FUSION 1
- テンポ：- 3

「悲しみにさよなら」より

作曲：玉置浩二



(SUSTAINボタンを押したままにして、
全体的にサスティンをかけてみましょう。)

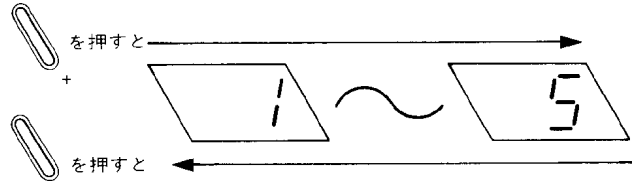
日本音楽著作権協会(出)許諾第8760785-701号

ポルタメント

PORTAMENTO ボタンを押しながら演奏すると、先に押した鍵盤の音程から後に押した鍵盤の音程へ、なめらかに音程が変化します。



PORTA-
MENTO



※音程の移行スピードは、必要に応じて「1」～「5」の範囲で変更することができます。変更するときには PORTAMENTO ボタンを押しながら、+/- PARAMETER CHANGE ボタンを押して設定します。値を「5」にすると移行スピードが最も遅く(ゆっくりと時間をかけて移行するように)なります。

乾電池をセットしていれば、指定した値はPOWERスイッチをOFFにしても、消えてしまうことはありません。
※ドラム音や自動伴奏の音には、ポルタメントはかかりません。

(例) ホイッスル(口笛)の音色にポルタメントをかけてみましょう。

- ボイス：43 WHISTLE
- スタイル：21 ROCK'N' ROLL 2
- テンポ：- 9
- ポルタメント：1

「(Sittin' On) The Dock of The Bay」より

作曲：Steve Cropper & Otis Redding



(PORTAMENTOボタンを押したままにして、
全体的にポルタメントをかけてみましょう。)

©1968 by EAST MEMPHIS MUSIC CORP.
Assigned for Japan to TAIYO MUSIC, INC.
Authorized for distribution only in Japan.
日本音楽著作権協会(出)許諾第8760785 701号

ビブラート

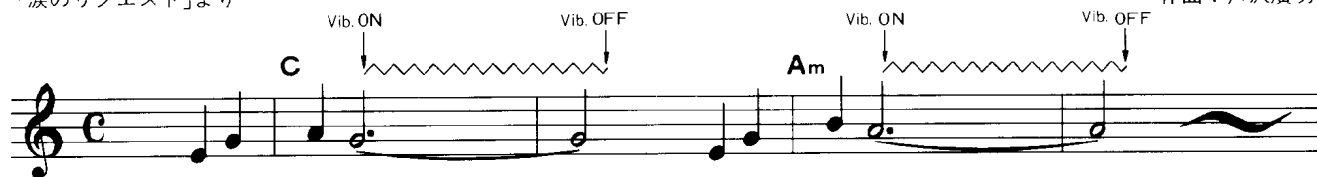
VIBRATOボタンを押しながら演奏すると、音が小刻みにふるえて音にうるおいがでます。



(例) 長めの音符にビブラートをかけてみましょう。

●ボイス：23 ROCK GUITAR

「涙のリクエスト」より

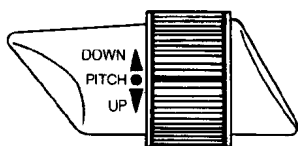


作曲：芦沢廣明

日本音楽著作権協会(出)許諾第8760785-701号

ピッチベンド

PITCHベンドホイールを回しながら演奏すると、音程が上下します。UP側に回すと音程が上がり、DOWN側に回すと下がります。

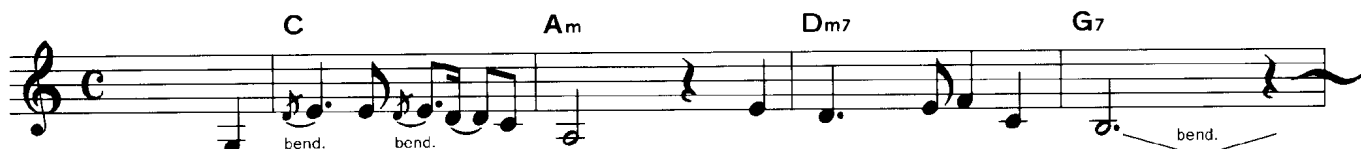


※音程の変化量は、必要に応じ“-12”(−1200セント)~“12”(+1200セント)の範囲で変更することができます。変更するときはPITCHベンドホイールをUP側一杯またはDOWN側一杯に回しながら、+/- PARAMETER CHANGE ボタンを押して設定します。たとえば、値を“1”にするとホイールをUP側いっぱいにしたとき、1半音(100セント)上がるようになり、値を“12”にすると1オクターブ(1200セント)上がるようになります。また、マイナス値にしたときは、UP/DOWNの極性が逆になります。

(例) ギターの音色にピッチベンドをかけてみましょう。

- ボイス：22 JAZZ GUITAR
- スタイル：21 ROCK'N' ROLL 2
- テンポ：-2

「想い出の渚」より

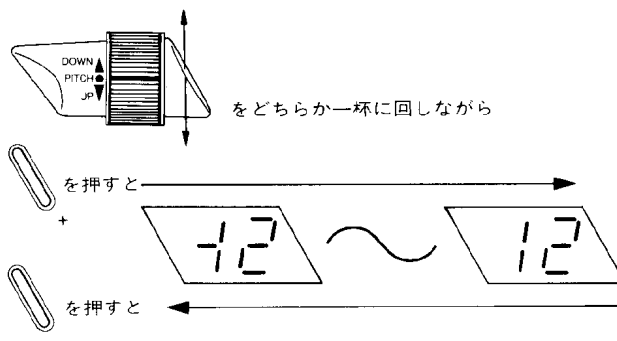


(半音位下げて、再びもとにもどす)

作曲：加瀬邦彦

日本音楽著作権協会(出)許諾第8760785-701号

※ドラム音や自動伴奏の音には、ビブラートはかかりません。
※ビブラートの深さは、音色ごとに決められています。かか
りの深さを変更することはできません。



乾電池またはACアダプターをセットしていれば、指定した値はPOWERスイッチをOFFにしても、消えてしまうことはありません。

なお、各設定値に対する音程の変化量を表にまとめると、次のようになります。

設定値	PITCHベンドホイールを、それぞれの方向いっぱいに戻したときの変化量	
	UP側	DOWN側
-12	1オクターブ下がる	1オクターブ上がる
-11	11半音下がる	11半音上がる
-10	10半音下がる	10半音上がる
⋮	⋮	⋮
-1	1半音下がる	1半音上がる
+1	1半音上がる	1半音下がる
+2	2半音上がる	2半音下がる
+3	3半音上がる	3半音下がる
⋮	⋮	⋮
+12	1オクターブ上がる	1オクターブ下がる

※ドラム音や自動伴奏の音には、ピッチベンドはかかりません。

演奏にリズムを加えてみよう

演奏の際、リズムを加えることにより、より演奏が楽しめます。リズムを加えながら演奏する方法を紹介します。なお、リズムパターンは全て2小節で構成されています。

①スタイルモードに切り替える

STYLEボタンを押して、スタイルモードに切り替えます。

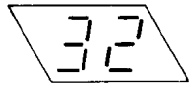
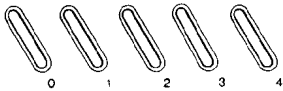
VOICE/STYLE SELECT



STYLE

②リズムの選択

0, 1, 2, 3, 4 ボタンで、希望するリズム(スタイル)のNo.を指します。たとえば、スタイルNo.32のタンゴであれば、3ボタンを押してから2ボタンを押します。(コントロールパネルの“STYLE LIST”を見れば、どのリズムがどのナンバーになっているかわかります。)



③リズムをスタートさせる

START/STOPボタンを押して、リズムをスタートさせます。指示したスタイルでドラム音が鳴るはずですが、リズムに合わせて演奏してみましょう。

RHYTHM CONTROL



START/STOP

※スタイルNo.43のBAROQUEに関しては、ドラムパートが存在しません。このため、リズムをスタートさせようとしても、リズムはプレイされません。(イントロプレイも同様)

BAROQUEは、NORMAL以外のモードにして自動伴奏させるときに有効なスタイルです。

※必要に応じ、音色の切り替えもしてみましょう。音色を切り替えるときは、7ページの“音色の選択と演奏”の③、④の操作をしてください。

④別のリズムへの切り替え

現在のテンポを維持したまま、別のリズムに切り替えることもできます。切り替えるときは、②の操作をしてください。ただし、音色を切り替えたためにボイスモードになっている場合は、①の操作から行う必要があります。

※スタイルによってテンポの初期値が異なりますが、リズムを止めずに、別のスタイルを選んだときは、テンポは変わらず、スタイルのみ切り替わります。

リズムを完全に止めてから、別のリズムに切り替えてスタートさせたときは、それぞれの初期値のテンポになります。

⑤リズムの停止

START/STOPボタンを押して、リズムを停止させます。



START/STOP

シンクロスタート

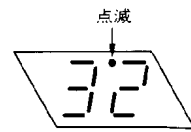
リズムをスタートさせる際、SYNCHRO START/ENDINGボタンを使って、演奏の開始と共にリズムをスタートさせることができます。

①リズムを選びます。

②SYNCHRO START/ENDINGボタンを押します。すると、シンクロスタンバイの状態になります。



SYNCHRO START/ENDING



なお、もう1度SYNCHRO START/ENDINGボタンを押すと、シンクロスタンバイが解除されます。

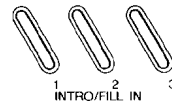
③演奏を開始します。すると、リズムも同時にスタートします。

エンディング

リズムをスタートさせた後、SYNCHRO START/ENDINGボタンを押すと、エンディングのフレーズの後、リズムが停止します。

フィルイン

リズムをスタートさせた後、INTRO/FILL IN 1, 2, 3ボタンを押してみましょう。変則的なリズムのパターンが次の小節の頭まで入ります。(つまり、オカズを入れることができます。)ボタンは3つありますが、ボタンによってパターンが異なります。



INTRO/FILL IN

※押し続けると、フィルインのパターンが繰り返されます。

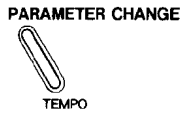
イントロプレイ

リズムを停止させた状態で、INTRO/FILL IN 1, 2, 3ボタンを押してみましょう。1小節分のフィルインを頭にリズムがスタートします。

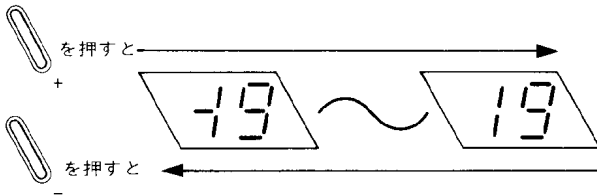
テンポ変更

必要に応じ、テンポを変更できます。テンポ変更は、リズムが鳴っている時でも、鳴っていない時でも可能です。

- ① TEMPO PARAMETER CHANGE ボタンを押します。



- ② + / - PARAMETER CHANGE ボタンを押してテンポ調整します。可変範囲は、“-19” (♩ = 54) ~ “19” (♩ = 264) です。



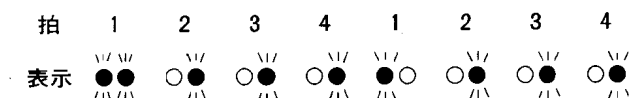
なお、+ ボタンと - ボタンを同時に押すと、“0”にセットされます。

※各設定値に対する速さを表にまとめると、次のようになります。

設定値	速さ (♩ =)	設定値	速さ (♩ =)	設定値	速さ (♩ =)
+19	264	+ 6	160	- 7	92
+18	256	+ 5	152	- 8	88
+17	248	+ 4	144	- 9	84
+16	240	+ 3	138	-10	80
+15	232	+ 2	132	-11	76
+14	224	+ 1	126	-12	72
+13	216	0	120	-13	69
+12	208	- 1	116	-14	66
+11	200	- 2	112	-15	63
+10	192	- 3	108	-16	60
+ 9	184	- 4	104	-17	58
+ 8	176	- 5	100	-18	56
+ 7	168	- 6	96	-19	54

※変更したテンポは別のスタイルに切り替えたり、電源を切るまで維持されます。

※LEDディスプレイ内の2つのドットが、リズムのテンポに合わせて、次のように点灯します。



継続スタート

リズムを停止させると、LEDディスプレイにドットが点滅されますが、この間に再びリズムをスタートさせれば、継続となります。(点滅の間は、リズムを維持しているため)つまり、正確なブレイクができることになります。

ドットの点滅時間

- START/STOP ボタンを2拍目のウラ以降に押した場合
……………次の小節の4拍目まで
- START/STOP ボタンを2拍目の表以前に押した場合
……………その小節の4拍目まで
- SYNCHRO START/ENDING ボタンを押した場合
……………エンディングパターンを含め3小節の間

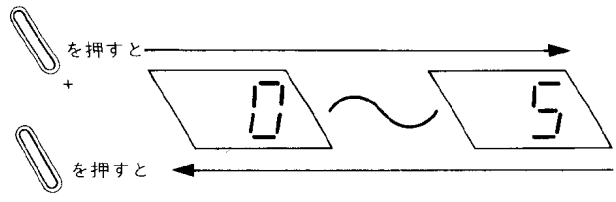
リズムの音量調整

演奏の音量は変えずにリズムの音量を変更できます。なお、後述の自動伴奏(ベース、コード)の音量も同時に変更されます。

- ①リズムをスタートさせます。
- ② ACCOMP. VOLUME PARAMETER CHANGE ボタンを押します。



- ③ + / - PARAMETER CHANGE ボタンを押して、リズムの音量を調整します。可変範囲は、“0” ~ “5”です。メロディを演奏して、メロディとのバランスがとれるようにしてください。



自動伴奏

ドラム音だけでなく、コード音やベース音など、自動伴奏音を加えることができる自動伴奏機能を紹介しします。5種類の自動伴奏機能があります。

シングルフィンガー オートベースコード

コードを押さなくても、最も簡単に自動伴奏させる機能です。たとえばメジャーコードなら指1本で、その他のコードでも2、3鍵押さえるだけで可能です。

シングルフィンガー オートベースコードは、ドラム音と、その他4つのパートによる自動伴奏です。スタイルによって、楽器の編成や音量、パターンが異なります。

- ①リズム(スタイル)を選択します。
- ②SINGLE FINGER A. B. C. MODEボタンを押して、シングルフィンガー オートベースコード モードにします。

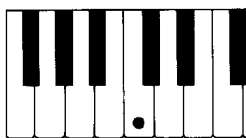


- ③SYNCHRO START/ENDINGボタンまたは、START/STOPボタンを押します。START/STOPボタンを押した場合は、この時点でドラム音だけ鳴りだします。
- ④曲のコード進行に従って、鍵盤を押さえていきます。鍵盤を押さえると、自動伴奏が始まります。

★鍵盤の押し方

メジャーコードの場合

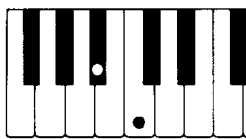
根音の鍵盤を押します。たとえばCの場合なら、



Cの鍵盤を押します。

マイナーコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の黒盤(どれでもよい)も同時に押します。たとえば、C_mの場合なら、



のように押します。

セブンスコードの場合

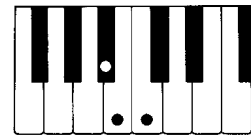
根音の鍵盤と、それよりも左側の白盤(どれでもよい)も同時に押します。たとえば、C₇の場合なら、



のように押します。

マイナーセブンスコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の白盤(どれでもよい)と黒盤(どれでもよい)も同時に押します。たとえば、C_{m7}の場合なら、



のように押します。

- ⑤SYNCHRO START/ENDINGボタンまたは、START/STOPボタンを押して自動伴奏を終了させます。SYNCHRO START/ENDINGボタンを押した場合は、エンディングのフレーズの後、終了します。

- テンポ変更やトランスポーズ、フィルインなど、様々な機能を併用することが可能です。
- コードを変えるとき、指を鍵盤から離さないで動かすと、コードが思いどおりに変わらないことがあります。一旦鍵盤から指を離すようにしてください。
- 鍵盤を押さえずに、コードシーケンサー機能を使ってコード検出させることも可能です。その場合には、③の操作の時点でシーケンスプレイを実行します。(18ページ参照)
なお、このときは2音までの演奏音を加えることができます。

<シングルフィンガー オートベースコード プレイの例> シングルフィンガーで、オートベースコードをプレイさせてみましょう。

モード：SINGLE FINGER A. B. C.

オートベースコード

普通にコードを押さえて自動伴奏させる機能です。コード演奏になれている人や、シングルフィンガー オートベースコードで出せるコードだけでは演奏できない曲の場合に向いています。

自動伴奏の内容は、シングルフィンガー オートベースコードの場合と同じです。なお、マニュアル演奏音は鳴りません。

- ①リズム(スタイル)を選択します。
- ②AUTO BASS CHORD MODEボタンを押して、オートベースコード モードにします。
- ③SYNCHRO START/ENDINGボタンまたは、START/STOPボタンを押します。
- ④曲のコード進行に従って、コードを押さえていきます。コードを押さえると自動伴奏のコードが変わります。鍵盤を押さえた時の音は鳴りません。
- ⑤SYNCHRO START/ENDINGボタンまたは、START/STOPボタンを押して自動伴奏を終了させます。

●検出可能なコードの種類は次のとおりです。

(例) Cコードの場合

C, Cm, C7, Cm7, CM7, Cm7-5, C7sus4, Caug,
Cdim, CmM7

なお、augおよびdimは、最低キーを根音として検出します。

※これは、シングルフィンガー オートベースコード以外の自動伴奏機能に共通していえることです。

<オートベースコード プレイの例> オートベースコードをプレイさせてみましょう。

モード：AUTO BASS CHORD

メロディ オン オートベースコード

普通にコードを押さえて自動伴奏させ、それに単音でメロディをのせる機能です。自動伴奏の内容はオートベースコードの場合と同じです。

- ①リズム(スタイル)を選択します。
- ②メロディ音の音色(ボイス)を選択します。
- ③MELODY ON A. B. C. MODE ボタンを押して、メロディ オン オートベースコード モードにします。



④演奏を開始します。コードを押さえると自動伴奏のコードが変わります。コードを押さえた時は押鍵の音は鳴らず、単音の押鍵はメロディとして鳴ります。(コードを押さえるときは、同時に全ての鍵盤を押さえましょう。バラバラに押さえると、メロディとして鳴ってしまいます。)

⑤SYNCHRO START/ENDINGボタンまたは、START/STOPボタンを押して自動伴奏を終了させます。

<メロディ オン オートベースコード プレイの例> オートベースコードをバックに、アドリブを弾く例です。

モード：MELODY ON A. B. C.

ボイス：00 SYNTHESIZER

スタイル：01 RHYTHM & BLUES 2

テンポ：0

オートベース

普通にコードを押さえてドラム音とベース音による自動伴奏をさせ、それに5音までの演奏音をのせる機能です。

- ①リズム(スタイル)を選択します。
- ②演奏音の音色(ボイス)を選択します。
- ③AUTO BASS MODEボタンを押して、オートベースモードにします。



④演奏を開始します。コードを押さえると、そのコードに基づくベースパターンが鳴ります。また、押鍵は同時5音発音で自由に演奏できます。

⑤SYNCHRO START/ENDINGボタンまたは、START/STOPボタンを押して自動伴奏を終了させます。

<オート ベース プレイの例> オートベースをバックに、複音でメロディを弾く例です。

モード：AUTO BASS

ボイス：22 JAZZ GUITAR

スタイル：13 BOOGIE-WOOGIE

テンポ：5



オートコード

普通にコードを押さえてドラム音とコード音による自動伴奏をさせ、それにメロディやベースをのせる機能です。

- ①リズム(スタイル)を選択します。
- ②演奏音の音色(ボイス)を選択します。たとえばベースパートを演奏するなら、ボイス No. 24の WOOD BASS を選択すれば大変マッチします。
- ③AUTO CHORD MODEボタンを押します。すると、オートコードモードになります。



④演奏を開始します。コードを押さえると、そのコードのハターンになります。(コードを押さえたときは、そのコードの根音が鳴ります。また、単音で弾いたメロディも鳴ります。)

⑤SYNCHRO START/ENDINGボタンまたは、START/STOPボタンを押して自動伴奏を終了させます。

<オートコード プレイの例> オートコードをバックに、ベースを弾く例です。

モード：AUTO CHORD

ボイス：24 WOOD BASS

スタイル：10 SWING GUITAR

テンポ：-2



コードシーケンサー機能を使ってみよう

SHS-10には、コード進行を記憶する3つのバンクがあり、これら3つのバンクには異なったコード進行を記憶させることができます。そして記憶させたコード進行は、その都度リズム(スタイル)と自動伴奏モードを選択して組み合わせ、自由に再生できます。(たとえば、リズムを“SLOW ROCK”、自動伴奏モードを“SINGLE FINGER A. B. C.”モードにしてレコーディングしても、プレイの際は“BIG BAND”、“AUTO CHORD”にするなどが可能)

3つのバンクには、あらかじめ下記のようにコード進行が記憶されています。

	(FILL IN 1)		(FILL IN 3)
PLAY 1:	: C ₇ F ₇ C ₇ F ₇ :		
PLAY 2:	: C ₇ F ₇ C ₇ C ₇ F ₇ F ₇ C ₇ C ₇ G ₇ F ₇ C ₇ (FILL IN 1) G ₇ :		
PLAY 3:	: C C A _m A _m D _{m7} D _{m7} G ₇ G ₇ :		

上記のコード進行は新しくコードを記憶させた時点で消えます。1つのバンクには約150コードずつ、記憶させることができます。また、コード進行だけでなく、フィルイン、ストップ、エンディングも含めて記憶可能です。記憶内容は、乾電池をセットしてあるか、またはACアダプターより電源が供給されているか、POWERスイッチをOFFにしても消えてしまうことはありません。

※コード進行を記憶させた後、上記のコード進行が再び必要になったときは、リセット操作をしてください。

(5 ページ参照)

シーケンスプレイ

まずは、すでに記憶されている内容を使ってプレイさせてみましょう。自分で記憶させた内容を再生する場合も、方法は全く同じです。

①リズムの選択

リズム(スタイル)を選択します。

②自動伴奏モードの選択

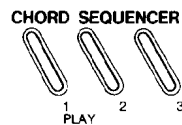
自動伴奏モードを選択します。たとえば、ドラム音とベース音のみの伴奏でよいときは、AUTO BASS MODEボタンを押します。

③メロディの音色を選択

自動伴奏にあわせてメロディ演奏する場合は、その音色を選んでおきます。

④シーケンスプレイをスタート

コードシーケンスPLAY 1, 2, 3 ボタンのいずれかを押して、プレイを開始します。必要なコード進行が記憶されているバンクのボタンを押してください。自動伴奏が始まり、この伴奏に合わせてメロディを弾くことができます。



⑤他のバンクへの切り替え

他のバンクのボタンを押してみてください。次の小節の最初から、切り替えたバンクのコード進行が始まります。3つのバンクをうまく組み合わせれば、約450コード以上のコード進行が記憶されたバンクを使うのと同じになります。

⑥自動伴奏終了

自動伴奏は、コード進行の最後までプレイされた場合でも頭に戻り、繰り返しプレイされます。START/STOPボタンまたはSYNCHRO START/ENDINGボタンを押して、自動伴奏を終了させてください。ただし、SYNCHRO START/ENDINGボタンによりシーケンスレコーディングが終了されているときは、ボタンを押さなくても自動的に終了します。

※リズムやテンポ、自動伴奏モードを途中で変更したり、後でフィルインを加えるなど、様々なコントロールが可能です。自分でいろいろなコントロールを考えてみてください。

シーケンスレコーディング

自分でコードを記録させてみましょう。

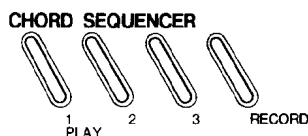
①プレイしやすい状態に

リズム(スタイル)や自動伴奏モードの選択、テンポ調整などをします。自分でプレイしやすい状態にしてください。

※自動伴奏モードでNORMAL MODEボタンおよびMELODY ON A. B. C. MODEボタンを押した場合、自動的にオートベースコードモードになります。

②レコーディングスタンバイの状態に

コードシーケンスRECORDボタンを押しながら、コードシーケンスPLAYボタンを押します。コードシーケンスPLAYボタンは、記録しようとするバンクのボタンを押してください。この状態にすると、LEDディスプレイにドットが2つ点滅で表示され録音スタンバイ状態(鍵盤またはSTART/STOPボタンを押せば、レコーディングがスタートする状態)になります。



①の操作で選択したスタイルNo.

③レコーディングスタート

鍵盤またはSTART/STOPボタンを押さえると、レコーディングが開始されます。頭にドラム音のみ数小節入れることも可能です。その場合は、START/STOPボタンを押して数小節ドラム音を聞いてからプレイを開始します。また、INTRO/FILL INボタンを押してフィルインからスタートすることも可能です。

さらに、途中でフィルインを入れることも可能です。

④終了

レコーディングを終了します。エンディングのフレーズを入れて終了するときはSYNCHRO START/ENDINGボタン、エンディングなしで終了するときはSTART/STOPボタンを押します。START/STOPボタンにより終了させた場合は、シーケンスプレイの際、繰り返しプレイされるようになります。

練習曲

ジャンバラヤ — JAMBALAYA (ON THE BAYOU) —

演奏アドバイス

楽しいカントリーポップスです。コードシーケンサー機能を使って4小節のコード (||: C | G7 | G7 | C :||) を記憶させておき、それを利用すれば簡単です。バイオリンの音色は、中間部でピッチベンドを利用すると、カントリーのバイオリンの雰囲気が出ます。

ボイス：20 VIOLIN

チューニング：0

スタイル：34 BLUEGRASS

アンプボリューム：3

テンポ：0

トランスポーズ：0

作曲：Hank Williams

Start ♩=120 (SHS-10のTempo表示では0です)

軽快に

楽譜は6行のメロディとコード進行を示しています。コードはCとG7が主です。演奏指示として「Start」ボックスと「軽快に」の指示があります。また、「Fill 1」、「Fill 3」および「Ending」のラベルも含まれています。

©Copyright 1952 by ACUFF-ROSE-OPRYLAND MUSIC, INC., Nashville, Tenn., U.S.A.
Rights for Japan controlled by Shinko Music Publishing Co., Ltd., Tokyo
Authorized for sale in Japan only
日本音楽著作権協会(出)許諾第8760785-701号

涙のリクエスト

演奏アドバイス

イントロは、ゆったりと流れるように弾きましょう。**Start**の部分からは、コードシーケンサー機能を使ってコードやフィルイン、エンディングを記憶させておき、それを使えばプレイが楽になります。長い音符には、ピブラートをかけると効果的です。

ボイス：23 ROCK GUITAR

チューニング：0

スタイル：21 ROCK'N' ROLL 2

アンプボリューム：4

作詞 売野稚勇

テンポ：2

トランスポーズ：0

作曲 芦沢廣明

Slow (自由なテンポで)

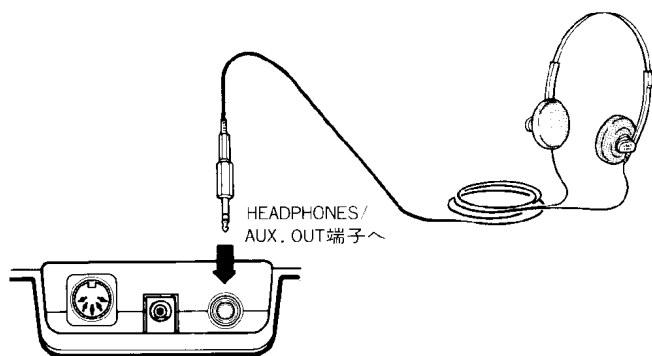
The musical score is written for guitar in a single system with 14 staves. It begins with a 'Slow' tempo instruction and a note to play freely. The notation includes a melodic line, a bass line, and a chord progression. Chords are indicated by letters above the staff: C, Am, Dm, G7, F, E7, Dm, F, G7, C, G7, C, Dm, F, G7, C, G7, C, Dm, G7, C, F. Performance instructions include 'Start' at the beginning of the main section, 'Fill 1', 'Fill 2', and 'Fill 3' for transitions. The score concludes with an 'Ending' section marked with a double bar line and a final C chord. A tempo marking '♩ = 132 (SHS-10のTempo表示では+2です)' is provided. The score is marked with repeat signs and first/second endings.

HEADPHONES/AUX. OUT端子の使いかた

SHS-10の側面にあるHEADPHONES/AUX. OUT端子は、次のように2種類の使い方があります。

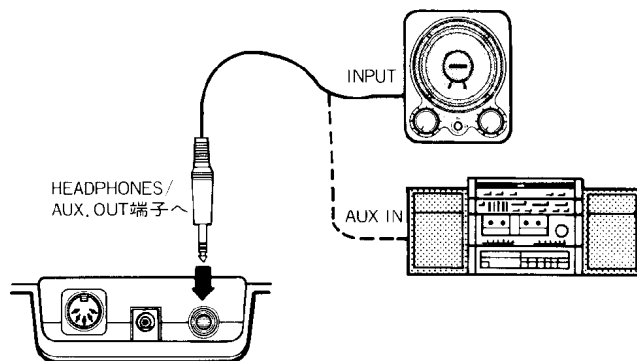
1)ヘッドホン端子として使う

ヘッドホンを接続すると、SHS 10のスピーカーからは音が出なくなりますから、夜間でも周囲に迷惑をかけることはありません。



2)キーボードアンプやステレオに接続する

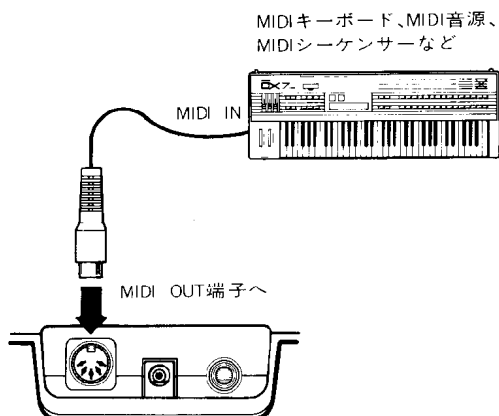
キーボードアンプやステレオに接続して、より大きな音をだすことができます。ミキサーに接続することも可能です。なお、この場合もスピーカーからは音が出なくなります。



※ 1)と2)どちらの場合も、SHS-10のVOLUMEレバーにより音量コントロールが可能です。

MIDI OUT端子の使いかた

MIDI OUT端子のMIDIという言葉はMusical Instrument Digital Interfaceの頭文字をとったもので、“ミディ”と読みます。MIDIは2台以上のMIDI機器を接続して様々なコントロールをしようという目的で考え出された世界統一規格です。つまり、MIDIコントロールをするための最低条件は、MIDI規格の機器でなければならないということになります。MIDIコントロールを実行する場合には、SHS-10のMIDI OUT端子と外部機器のMIDI IN端子を、MIDIケーブルで接続してください。



MIDIにより、次のコントロールが可能です。

- MIDI キーボードやMIDI音源を接続し、それらの機器でも演奏音やドラム音、自動伴奏音を、接続した機器が持っている音色で鳴らすことができます。また、サスティンやポルタメントなど、SHS-10でエフェクトをかけると、接続した機器の音色にエフェクトをかけることも可能です。
- SHS-10のドラム音や自動伴奏音のスタート/ストップと同時に、MIDIシーケンサーやMIDIリズムマシンをスタート/ストップさせることができます。
- SHS-10での音色の切り替えと同時に、接続したMIDIキーボードやMIDI音源の音色を切り替えることができます。また、MIDIエフェクターのエフェクトプログラムを切り替えることもできます。

MIDIコントロール

MIDIメッセージについて

MIDIコントロールを実行するためには、MIDIメッセージの種類について知っておく必要があります。

各操作をしたとき、SHS-10のMIDI OUT端子からは次のようなメッセージが送信されます。

- 演奏しているとき → ノートオン/ノートオフ
- エフェクトをかけているとき → コントロールチェンジ
- ドラム音や自動伴奏音をスタートさせたとき
→ スタート
- ドラム音や自動伴奏音を鳴らしているとき
→ ノートオン/ノートオフ
→ タイミングクロック
- ドラム音や自動伴奏音をストップさせたとき
→ ストップ
- スタイルを切り替えたとき → プログラムチェンジ
- 音色を切り替えたとき → プログラムチェンジ

MIDIチャンネルについて

MIDIコントロールを実行するためには、SHS-10のMIDIチャンネルと外部機器のMIDIチャンネルを一致させておく必要があります。チャンネルが一致していないと、外部機器の方でメッセージを受信できません。MIDIチャンネルには、1チャンネル～16チャンネルあります。

SHS-10では、一度に最高で6種類のチャンネルを使います。これは、マニュアル演奏パート、ドラムパート、ベースパートなど、全部で6種類のパートがあるためです。

演奏パートは自由にチャンネルを選択できますが、その他5つのパートに関しては、次のようにチャンネル固定となっています。

- ドラムパート → チャンネル16
- 自動伴奏パート1 → チャンネル12
- 自動伴奏パート2 → チャンネル13
- 自動伴奏パート3 → チャンネル14
- 自動伴奏パート4 (主にベースパート) → チャンネル15

マニュアル演奏パートのチャンネル選択

マニュアル演奏パートのチャンネル選択は次のように行います。

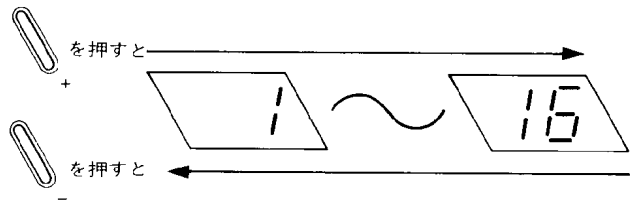
①MIDIチャンネル変更可能な状態に

MIDI CHANNEL PARAMETER CHANGEボタンを押して、チャンネル変更可能な状態にします。



②チャンネル指定

+/- PARAMETER CHANGEボタンを押して、希望するチャンネルにします。1～16チャンネルの中で選択できます。

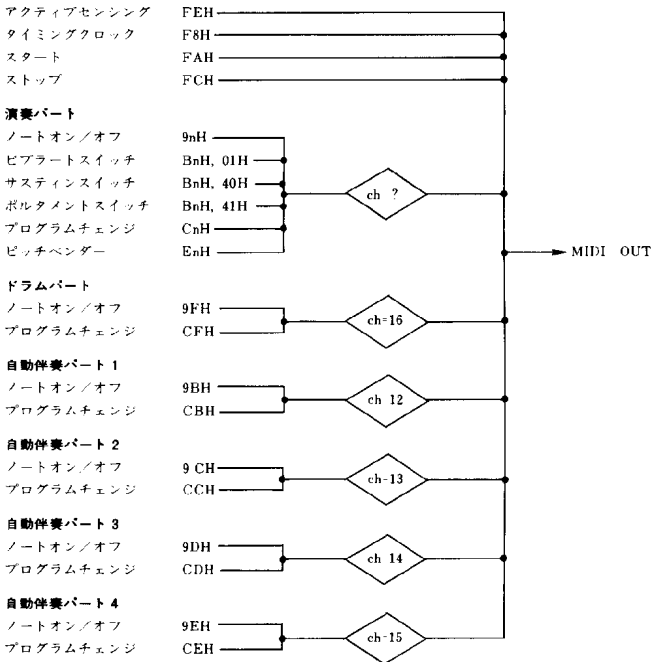


※乾電池をセットしてあるか、またはACアダプターがコンセントに接続されていれば、指定したチャンネルは、POWERスイッチをOFFにしても消えてしまうことはありません。

MIDIコントロールを実行する場合には、接続した機器の取扱説明書等もよくご覧ください。

MIDIデータフォーマット

1. 送信条件



③プログラムチェンジ

マニュアル演奏パート

ステータス	1 1 0 0 n n n n (CnH)	n=0(チャンネルNo1)~15(チャンネルNo16)
プログラムNo.	0 p p p p p p p	p=0(ボイス"00")~24(ボイス"44") 26ページの表1参照

ドラムパート

ステータス	1 1 0 0 1 1 1 1 (CFH)	
プログラムNo.	0 p p p p p p p	p=0(スタイル"00")~24(スタイル"44") 26ページの表2参照

自動伴奏パート1

ステータス	1 1 0 0 1 0 1 1 (CBH)	
プログラムNo.	0 p p p p p p p	p:26ページの表2および1参照

自動伴奏パート2

ステータス	1 1 0 0 1 1 0 0 (CCH)	
プログラムNo.	0 p p p p p p p	p:26ページの表2および1参照

自動伴奏パート3

ステータス	1 1 0 0 1 1 0 1 (CDH)	
プログラムNo.	0 p p p p p p p	p:26ページの表2および1参照

自動伴奏パート4

ステータス	1 1 0 0 1 1 1 0 (CEH)	
プログラムNo.	0 p p p p p p p	p:26ページの表2および1参照

④ピッチベンド

マニュアル演奏パート

ステータス	1 1 1 0 n n n n (EnH)	n=0(チャンネルNo1)~15(チャンネルNo16)
ピッチベンド値 (LSB)	0 v v v v v v v	
ピッチベンド値 (MSB)	0 v v v v v v v	

MBS

LSB

0 0 0 0 0 0 0 0 (00)	0 0 0 0 0 0 0 0 (00)	最低値
0 1 0 0 0 0 0 0 (40)	0 0 0 0 0 0 0 0 (00)	中心値
0 1 1 1 1 1 1 1 (7F)	0 1 1 1 1 1 1 0 (7E)	最大値

2. 送信データ

2-1 チャンネルインフォメーション

●チャンネルボイスメッセージ

①ノートオン/オフ

マニュアル演奏パート

ステータス	1 0 0 1 n n n n (9nH)	n=0(チャンネルNo1)~15(チャンネルNo16)
ノートNo.	0 k k k k k k k k	k=41(F ₁)~96(C ₆)
ベロシティ	0 1 0 0 0 0 0 0 (64)	"ノートオン"
	0 0 0 0 0 0 0 0 (00)	"ノートオフ"

ドラムパート

ステータス	1 0 0 1 1 1 1 1 (9FH)	
ノートNo.	0 k k k k k k k k	26ページの表3参照
ベロシティ	0 v v v v v v v v	"ノートオン" v=56, 64, 127
	0 0 0 0 0 0 0 0 (00)	"ノートオフ"

自動伴奏パート1

ステータス	1 0 0 1 1 0 1 1 (9BH)	
ノートNo.	0 k k k k k k k k	k=28(E ₃)~91(G ₃)
ベロシティ	0 1 0 0 0 0 0 0 (64)	"ノートオン"
	0 0 0 0 0 0 0 0 (00)	"ノートオフ"

自動伴奏パート2

ステータス	1 0 0 1 1 1 0 0 (9CH)	
ノートNo.	0 k k k k k k k k	k=29(F ₃)~94(A ₃)
ベロシティ	0 1 0 0 0 0 0 0 (64)	"ノートオン"
	0 0 0 0 0 0 0 0 (00)	"ノートオフ"

自動伴奏パート3

ステータス	1 0 0 1 1 1 0 1 (9DH)	
ノートNo.	0 k k k k k k k k	k=29(F ₃)~100(E ₃)
ベロシティ	0 1 0 0 0 0 0 0 (64)	"ノートオン"
	0 0 0 0 0 0 0 0 (00)	"ノートオフ"

Accomp 4

ステータス	1 0 0 1 1 1 1 0 (9EH)	
ノートNo.	0 k k k k k k k k	k=11(B ₂)~86(D ₃)
ベロシティ	0 1 0 0 0 0 0 0 (64)	"ノートオン"
	0 0 0 0 0 0 0 0 (00)	"ノートオフ"

②コントロールチェンジ

マニュアル演奏パート

ステータス	1 0 1 1 n n n n (BnH)	n=0(チャンネルNo1)~15(チャンネルNo16)
コントロールNo.	0 c c c c c c c c	c=1 ピアノスイッチ c=64サスティンスイッチ c=65ポルタメントスイッチ
コントロール値	0 v v v v v v v v	v=0 オフ v=127オン

2-2 システムインフォメーション

●システムリアルタイムメッセージ

①タイミングクロック

ステータス	1 1 1 1 1 0 0 0 (F8H)
-------	-----------------------

②スタート

ステータス	1 1 1 1 1 0 1 0 (FAH)
-------	-----------------------

③ストップ

ステータス	1 1 1 1 1 1 0 0 (FCH)
-------	-----------------------

④アクティブセンシング

ステータス	1 1 1 1 1 1 1 0 (FEH)
-------	-----------------------

Function ...	transmitted	
	Manual performance	Auto rhythm
Basic Channel Default Changed	1 1-16	16 X
Mode Default Messages Altered	Mode3 X *****	Mode3 X *****
Note Number : True voice	41-96 *1 *****	*3 *****
Velocity Note ON Note OFF	X 9nH v=64 X 9nH v=0	○ 9FH v=56, 64, 127 X 9FH v=0
After Touch Key's Ch's	X X	X X
Pitch Bender	○ 7bit resolution	X
Control Change	1 64 65 ○ VIBRATO SW ○ SUSTAIN SW ○ PORTAMENTO SW	X X X
Prog Change : True #	○ 0 - 24 *2 *****	○ 0 - 24 *4 *****
System Exclusive	X	
System : Song Pos : Song Sel Common : Tune	X X X	
System : Clock Real Time : Commands	○ ○	
Aux : Local ON/OFF : All Notes OFF Mes- : Active Sense sages: Reset	X X ○ X	

Notes: *1 = Includes transposed note.
 *2 = Altered by voice select. (See table 1)
 *3 = see table 3
 *4 = Altered by style select. (See table 2)

Function ...	Transmitted			
	Accomp1	Accomp2	Accomp3	Accomp4
Basic Default Channl Changed	12 X	13 X	14 X	15 X
Mode Default Messages Altered	Mode4 X *****	Mode4 X *****	Mode4 X *****	Mode4 X *****
Note Number : True voice	28 - 91 *1 *****	29 - 94 *1 *****	29 - 100 *1 *****	11 - 86 *1 *****
Velocity Note ON Note OFF	X 9BH v=64 X 9BH v=0	X 9CH v=64 X 9CH v=0	X 9DH v=64 X 9DH v=0	X 9EH v=64 X 9EH v=0
After Key's Touch Ch's	X X	X X	X X	X X
Pitch Bender	X	X	X	X
Control Change	X	X	X	X
Prog Change : True #	0-15 *5 *****	0-15 *5 *****	0-15 *5 *****	0-15 *5 *****
System Exclusive	X			
System : Song Pos : Song Sel Common : Tune	X X X			
System :Clock Real Time :Commands	○ ○			
Aux :Local ON/OFF :All Notes OFF Mes- :Active Sense sages:Reset	X X ○ X			

Notes: *5 = Altered by auto accompaniment voices. (see table 2 & 1)

表1 (table 1)

音色名	プログラムチェンジ	
00	SYNTHESIZER	0 0 H
01	JAZZ ORGAN	0 1 H
02	PIPE ORGAN	0 2 H
03	PIANO	0 3 H
04	HARPSICHORD	0 4 H
10	ELECTRIC PIANO	0 5 H
11	CELESTA	0 6 H
12	VIBRAPHONE	0 7 H
13	MARIMBA	0 8 H
14	STEEL DRUM	0 9 H
20	VIOLIN	0 A H
21	CELLO	0 B H
22	JAZZ GUITAR	0 C H
23	ROCK GUITAR	0 D H
24	WOOD BASS	0 E H
30	TRUMPET	0 F H
31	TROMBONE	1 0 H
32	HORN	1 1 H
33	SAXOPHONE	1 2 H
34	CLARINET	1 3 H
40	FLUTE	1 4 H
41	OBOE	1 5 H
42	HARMONICA	1 6 H
43	WHISTLE	1 7 H
44	MUSIC BOX	1 8 H

表2 (table 2)

スタイル名	プログラムチェンジ					
	CH16	CH12	CH13	CH14	CH15	
00	RHYTHM & BLUES 1	0 0 H	0 0 H	0 0 H	0 C H	0 E H
01	RHYTHM & BLUES 2	0 1 H	0 C H	0 C H	0 C H	0 E H
02	FUSION 1	0 2 H	0 C H	1 4 H	1 4 H	0 E H
03	FUSION 2	0 3 H	1 4 H	1 4 H	1 4 H	0 E H
04	SLOW ROCK	0 4 H	0 3 H	0 3 H	0 3 H	0 E H
10	SWING GUITAR	0 5 H	0 C H	0 C H	0 C H	0 E H
11	BIG BAND	0 6 H	0 F H	0 F H	0 F H	0 E H
12	DEXIE BANJO	0 7 H	0 4 H	0 4 H	0 4 H	0 F H
13	BOOGIE WOOGIE	0 8 H	0 3 H	0 F H	0 F H	0 E H
14	JAZZ WALTZ	0 9 H	0 3 H	0 3 H	0 3 H	0 E H
20	ROCK'N' ROLL 1	0 A H	0 C H	0 C H	0 C H	0 E H
21	ROCK'N' ROLL 2	0 B H	0 C H	0 C H	0 C H	0 E H
22	ROCK-A-BALLAD	0 C H	0 3 H	0 3 H	0 3 H	0 E H
23	HARD ROCK	0 D H	0 C H	0 C H	0 C H	0 E H
24	REGGAE	0 E H	0 C H	0 C H	0 C H	0 E H
30	BOSSA NOVA	0 F H	0 C H	0 C H	0 C H	0 E H
31	SAMBA	1 0 H	0 C H	0 C H	0 C H	0 E H
32	TANGO	1 1 H	0 3 H	0 2 H	0 2 H	0 E H
33	COUNTRY	1 2 H	0 C H	0 C H	0 C H	0 E H
34	BLUEGRASS	1 3 H	0 E H	0 4 H	0 A H	0 E H
40	MARCH 1	1 4 H	0 F H	0 F H	1 3 H	1 1 H
41	MARCH 2	1 5 H	0 F H	0 F H	1 3 H	1 1 H
42	LULLABY	1 6 H	0 7 H	0 7 H	0 7 H	0 E H
43	BAROQUE	1 7 H	0 4 H	1 4 H	1 4 H	0 4 H
44	FANFARS	1 8 H	0 F H	0 F H	0 F H	0 F H

表3 (table 3)

●ドラムパートデータ(CH16)

楽器名	キーノート
HH-CLOSED	A2 (3 9 H)
CYMBAL	D3 (3 E H)
TOM	C2 (3 0 H)
SD	E2 (3 4 H)
BD	A1 (2 E H)

このような現象は故障ではありません

現 象	原 因	解 決 法
POWERスイッチをONにしたとき、またはOFFにしたときブツと音がる。	電気が流れたため	ご心配いりません。
どの音も出ない。	VOLUMEが下がっているため。	VOLUMEを上げてください。
	HEADPHONES/AUX. OUT端子にプラグを差しているため。	プラグを抜いてください。
マニュアル演奏音だけ出ない。	オートベースコードまたはシングルフィンガーオートベースコードになっているため。	他のモードにしてください。
ドラム音と自動伴奏音が出ない。	アカンパニメントボリュームの値が下がっているため。	値を上げてください。
自動伴奏音が出ない。	ノーマルモードになっているため	希望する自動伴奏のモードに切り替えてください。
ドラム音または自動伴奏音に、エフェクトがかからない。	エフェクトは、マニュアル演奏音だけにかかるため。	9ページの説明をお読みください。
複数の鍵盤を押したとき、出ない音がある。	モード等によって、発音が異なるため。	ご心配いりません。ノーマルモードのときが最高で、同時発音数6音です。
音色またはスタイルが切り替わらない。	VOICEボタンまたはSTYLEボタンを押していないため。	7ページおよび9ページの説明をお読みください。
パラメーター値の表示が、ボイスNo.またはスタイルNo.の表示に、自動的に切り替わってしまう。	ボタンを押した後、3秒後に表示が切り替わる機構になっているため。	ご心配いりません
コードケーケンサー機構を使ってレコーディングしたが、違うリズムでプレイされてしまう。	レコーディングしたときと違うスタイルになっているため。	同じスタイルにしてください。
音が突然出なくなったり、ドラム音や自動伴奏が突然止まってしまう。	電池が寿命のため。	6本共新しい電池と交換してください。

仕様

鍵盤数

32鍵(F--C)

音色("00"~"44") 25音色

シンセサイザー、ジャズオルガン、パイプオルガン、ピアノ、
ハーブシコード、エレクトリックピアノ、セレスタ、ビブラフォン、
マリンバ、スチールドラム、バイオリン、チェロ、ジャズギター、
ロックギター、ウッドベース、トランペット、トロンボーン、ホルン、
サクソホン、クラリネット、フルート、オーボエ、ハーモニカ、
ホイッスル、ミュージックボックス

スタイル("00"~"44") 25スタイル

リズム&ブルース1、リズム&ブルース2、フュージョン1、
フュージョン2、スローロック、スウィングギター、ビッグバンド、
デキシーバンジョー、ブキウギ、ジャズワルツ、ロックンロール1、
ロックンロール2、ロックバラード、ハードロック、レゲエ、ボサノバ、
サンバ、タンゴ、カントリー、ブルーグラス、マーチ1、マーチ2、
ラバイ、パロック、ファンファーレ

モード

ノーマル、オートベースコード、メロディ オン オートベースコード、
オートベース、オートコード、シングルフィンガー オートベースコード

エフェクト

ピッチベンド、ビブラート、ポルタメント、サステノン

リズムコントロール

イントロ/フィルイン1、イントロ/フィルイン2、
イントロ/フィルイン3、シンクロスタート/エンディング、
スタート/ストップ

コードシーケンサー

プレイ1、プレイ2、プレイ3、レコード

パラメーターチェンジ

テンポ、トランスポーズ、チューニング、
アカンパニメントボリューム、MIDIチャンネル、-、+

その他

パワースイッチ、ボリューム、2桁LEDディスプレイ

付属端子

HEADPHONES/AUX. OUT、DC(9-12V) IN、MIDI OUT

音源

FM音源

メインアンプ

2W

スピーカー

7.7cm(4Ω)

定格電源

DC 9V(単3乾電池6本、電源アダプターPA-1、PA-1B)

消費電力

電源アダプター使用時:5W、乾電池使用時:2.5W

電池寿命(デモ演奏、VOLUME MAX時)

マンガン乾電池使用時:約3時間

アルカリ乾電池使用時:約9時間

寸法(幅×奥行き×高さ)

751mm×178mm×57mm

重量

1.1kg(乾電池含まず)

外装材質

スチロール樹脂

付属品

マンガン単3乾電池6本、ストラップ

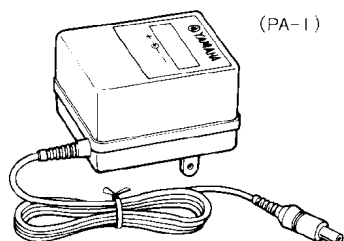
※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります

オプション(別売)のご紹介

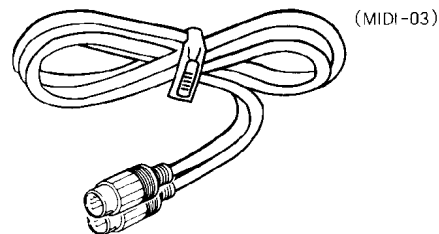
●ヘッドホン(HPE-3:3,000円)



●電源アダプター(PA-1:2,000円、PA-1B:2,000円)



●MIDI ケーブル(MIDI-03:1,100円、MIDI-15:3,000円)



シングルフィンガーコード一覧表

メジャー・コード

そのコード名の鍵盤を押します。

C	
C# D	
D	
D# E	
E	
F	
F# G	
G	
G# A	
A	
A# B	
B	

マイナー・コード

そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵を同時に押します。

Cm	
C#m D#m	
Dm	
D#m/E#m	
Em	
Fm	
F#m G#m	
Gm	
G#m A#m	
Am	
A#m B#m	
Bm	

セブンス・コード

そのコード名の鍵盤と、左の白鍵を同時に押します。

C7	
C#7/D7	
D7	
D#7/E7	
E7	
F7	
F#7/G7	
G7	
G#7/A7	
A7	
A#7/B7	
B7	

マイナー・セブンス・コード

そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵と白鍵を同時に押します。

Cm7	
C#m7/D#m7	
Dm7	
D#m7/E#m7	
Em7	
Fm7	
F#m7/G#m7	
Gm7	
G#m7/A#m7	
Am7	
A#m7/B#m7	
Bm7	

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店もしくはヤマハ株式会社営業所にお問い合わせください。

修理メモ

年月日	内 容	担 当 者	印

ヤマハポータサウンド保証書

MODEL SHS-10

この度はヤマハポータサウンドをお買上げ頂きましてありがとうございました。本書は裏面の保証規定により無料修理を行なうことをお約束するものです。お買上げの日から右期間中に万一故障が発生した場合は製品に本保証書を添えてお買上げの販売店にご持参の上修理をご依頼ください。

<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/>
ご住所
電 話
お名前

お買上げ日	年	月	日
保証期間	本体	お買上げの日から1年間	
販売店名			
(所在地)			
(電 話)	(扱者名)		

ヤマハ株式会社 シングルキーボード事業部

〒430 浜松市中区沢町10番1号
0534-60-3275